

ハッピー通信



2026年1月27日発行
26-04号

現場から（最近のニュースから）

日々の充実のために



新年になって、はや1か月が過ぎようとしています。お正月に「今年こそは」と決意したのに、何かに追われる日々で、いつもどおりになっている方も多いでしょう。いったい自分は何をしたいのかと、ふと思うこともあるかもしれません。やりたいこともないし…と悩んでいる人のために「やりたいことはなくてもいい」という本の著者しづかみちこさんが、やりたいことを無理に探さなくても、日々が充実し、迷いがなくなり、自分らしい「道」が自然に見えてくる方法を紹介している本からの記事がありました。

しみずさんは、「『やりたいことがない』ことは欠点どころか、大きな武器になります。なぜなら、そういう人だけが持つ「強み」があるからです。」と言われます。強み三つが書いてありました。

強み① 柔軟性と適応力が高い

やりたいことが明確な人は、その目標に固執するあまり、環境の変化に対応できないことがあります。一方、特定の目標に縛られていない人は、目の前のチャンスを素直に掴むことができます。結果として、予想外の場所で才能が開花することも多いのです。

強み② 目の前のこと集中できる

「5年後の自分」を常に意識しながら仕事をするのは、実は疲れるものです。やりたいことがない人は、遠い未来ではなく「今、目の前にあること」に全力を注ぐことができます。この積み重ねこそが、気づけば大きな成果につながっています。

強み③ 偏見なく物事を見られる

強い目標や願望は、時に視野を狭めます。やりたいことがない人は、自分の興味だけでなく、必要性や周囲の状況も含めて冷静に判断できます。だからこそ、意外な発見や学びに出会いやすいのです。

この強みを最大限に生かしていけば、日々が充実して迷いがなくなり、自分らしい「道」が見えるということです。（1月25日PRESIDENTonline<「やりたいことがない」人だけが持つ、3つの圧倒的な強みとは?>より）

自分のやりたいことばかりに集中していると、「環境の変化に対応するのが難しい。常に遠くを見ているので、『今』が見えにくく、疲れてしまうことがある。視野が狭くなりがち」ということでしよう。たしかに、やりたいことがないのは、自分がやりたいことに縛られないでの、どんな状況でもかまわなく、目の前のこと集中して、周りの状況も広く見ることはできて、チャンスが来たときに分かりやすいかもしれません。ただ、「やりたいことに集中」しているから指摘されるようなことが生じるのではありません。原因は「やりたいことがあって、それに集中している」からではないので、たとえ「やりたいことがなくても」同じように環境の変化に対応できず、今が見えず、疲れてしまい、視野は狭いままになることがあるのです。ほんとうの原因ではないことに対処していると、また、ほかの部分から同じ問題が浮かんできます。ほんとうの問題は何でしょうか。日々が充実して、迷いがなくなり、自分らしい道が見えるのは、自分の何かとは関係なく与えられるものです。充実した人生になるために、何が必要なのか、また、それを与えられるのはどこからなのか、それについていっしょに見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれしていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

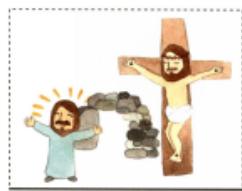
なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出しができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち碎いて勝利なさいました(I ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特權をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださったことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」